

2025 土砂災害防止月間

現場ピックアップ

砂防事業最前線 国土交通省直轄工事の現場から

長野県南木曾町の梨子沢第2砂防堰堤本体完成直後(2014年3月 国交省撮影)



画像類は施工各社提供

東北地方整備局新庄河川事務所 銅山川流域舂玉第2砂防堰堤災害復旧ほか工事

永井建設

ウェブカメラで水位観測、安全徹底

監理技術者
羽賀 達男氏

2020年7月の豪雨で最上川水系銅山川は、鋼製透過型の舂玉第2砂防堰堤(1999年完成)の効果によって被害を大幅に軽減できました。ただ水通し部の一部が下流側に変位しました。そのため砂防工事で全国初となる曳家(ひきや)技術を活用した水通し部の移設工事を実施しました。

水通し部を元の位置に戻し補強を終えて完成間近だった鋼製堰堤は、24年豪雨で再び大量の土砂(巨石・流木など)が流入。砂防堰堤の復旧工事として土砂撤去やコンクリート堰堤、上流側の基礎コンクリートの洗掘で被災したコンクリートブロック積(張)などを施工しています。

厳冬期の休工期間を終え、現在は融雪による川の増水で流出した砂防仮締め切りを復旧しています。引き続きコンクリート堰堤の堆積土砂撤去やコンクリートブロック積(張)の撤去を施工する予定です。工事概要は堤冠コンクリート205㎡、H鋼杭12本、除石約7300㎡、法覆護岸工1111㎡、根固めブロック99個などです。

現場の銅山川は、降雨で急激な水位上昇が発生します。天候の変化や水位観測に気を配り、早期に気象状況を把握する必要があります。ウェブカメラを現場に設置し、気象情報を全作業員と共有しながら安全に作業することが不可欠です。

山形県内は大雨や台風による水災害がたびたび発生しています。河川内作業になる現場での安全確保を第一に、悪天候時の作業中止基準を厳守します。作業員を危険から守ることで出水時災害防止を徹底し、最善を尽くし施工を進めます。



上流側から見た全景



曳家状況(上流側)



「豊かな環境を築く」ため、社会に貢献する

永井建設株式会社

山形県新庄市五日町字宮内322番地の1

電話 0233(22)8111